

デルフィニウムの栽培と株冷蔵による夏越しについて

島田有紀子

2004年より、ベゴニア温室周辺のコンテナで、4月から6月にかけてデルフィニウムを開花させている。

デルフィニウムはキンボウゲ科の多年草で豪華な穂状花序をもち、主にホテルフロアや結婚式場などで華やかな切花として利用されている。しかし、一般家庭における栽培はあまり多いとはいえず、また花付き苗やポット苗は秋にはほとんど流通せず、春に少量流通するだけであるため、初夏に開花してもボリュームにやや欠ける。当園で初秋に播種して栽培するパシフィック・ジャイアント系品種は草丈1.5mを超え雄大であり、普段目にしないその姿に来園者の反響は大きかった(写真1)。

デルフィニウムはユーラシア大陸及びアメリカ大陸西岸の標高の高い山岳地帯に自生し、また主要品種であるパシフィック・ジャイアント系品種はサンフランシスコ付近で育種されたため、冷涼で少雨の環境を好み、日本のような高温多湿を嫌う。写真1. 5月上旬における開花状況



そのため、本来は宿根草であるが、日本では夏に枯死し、園芸的に秋播き一年草として扱われている。

これまでの実生栽培

当園では、広島県農業技術センターの勝谷範敏氏から提供を受けた種子のほか、種苗会社から購入、及び当園で開花させた優良な個体から採種した種子を栽培に供している。8月中下旬、冷房温室でバーミキュライトを用いて72穴セルトレイに播種し、10月中旬に径9cmポットに移植、11月中下旬に径15cmポットに鉢上げして無加温ハウスで栽培し、3月中旬に戸外の径42cmのコンテナに定植した。約2mに伸長する茎は風で折れやすいので支柱が必要である。

これまでのところ、市販品種ではF1'キャンドル'

シリーズ、F1'オーロラ'シリーズ及び'マジックフオンテンズ'シリーズを栽培したが、'キャンドル'シリーズは1月から抽台を開始し草丈が1m程度で開花するためやや貧弱となり、加えて生長のばらつきがみられた。'マジックフオンテン'シリーズも品質の均一性に欠けた。'オーロラ'シリーズは3月上旬中旬から抽台を開始し、草丈2m程度で開花するうえ、品質もよく揃い、最も優れていた。

夏期の株冷蔵の可能性

無加温ハウスで栽培したポット苗は概ね3月上旬中旬から抽台し始め、3月中旬に戸外の径42cmのコンテナに定植すると、4月から1番花が開花、6～7月に2番花が開花する。梅雨時期に開花する2番花は1番花と比べ、草丈が短く花色も薄く観賞期間も短い。その後は夏越しが難しく、9月に生き残る株は全体の5%未満である。そこで、本年度は夏に株を掘り上げ初秋まで冷蔵貯蔵できるかどうかを検討した。

2005年7月20日、まだ一部の個体で2番花が咲いていたが、下位節のロゼット葉のみを残して地際から花茎をすべて除去し、根鉢を径15cm程度つけて掘り上げた。このとき土壌はやや乾いた状態で、このままポリ袋に入れてパッキングし、 $2 \pm 1^{\circ}\text{C}$ 暗黒の冷蔵庫で貯蔵した。

高温・長日はデルフィニウムの抽台を促進するが、株が十分な栄養成長をしないうちに抽台すると、草丈が短いうえ小花数が著しく減少して貧弱になるため、9月上旬までの定植は望ましくない。そこで、この早期抽台を十分に回避できると思われた9月20日に 2°C 貯蔵を終了して出庫し、根鉢を崩さずに株を再び定植した。貯蔵開始時に残っていた茎葉は腐って枯れていたが、地下の芽はほとんど生存しており、中にはすでに地表面に芽が出始めている状態のものもあった。冷蔵貯蔵中の枯死率は5%程度



写真2. 冷蔵株の生育状況(10月上旬)

であり、2ヶ月の2℃貯蔵は可能であると思われた。

定植用の長さ60cmプランターには春にデルフィニウムを栽培していた古土を使用したため、リゾクトニア菌による立ち枯れを防ぐことを目的に、前もって殺菌剤を土壌灌注したうえで3株ずつ定植した。5日以内に発芽が確認されたが、後に15%程度の個体が立ち枯れた。その後は順調に生育し(写真2)、12月下旬には約1mに伸長し、発蕾した(写真3)。

この方法により、7～8割の株を再利用できることが分かった。しかも、実生苗と比べ地下部が充実しているために、晩秋から冬期の開花も期待できる。さらに大株であるため、種子からの栽培と比べ、翌春の開花もボリュームがでる。一方で、約2割が冷蔵中や定植後の環境に馴染まず枯死した。7月に株を掘り上げた際、若干の湿度をもった状態で貯蔵させたが、根系を掘り上げピートモスなどで充填

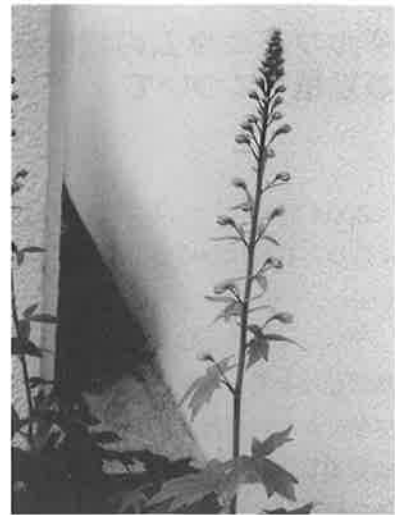
し乾燥貯蔵する方法も考えられる。貯蔵中のスペースを減らせられる利点も含め、今後この可能性について検討してみたい。

謝辞

本試験を遂

行するに当たって、写真3. 冷蔵株の生育状況(12月上旬)

り、広島県農業技術センター勝谷範敏氏により種子の提供と助言を賜りました。ここに深く感謝の意を表します。



サクラの植栽位置と開花時期について

平井健一郎・世羅徹哉

平成17(2005)年3月から4月にかけて、サクラの個体別植栽位置並びに品種の確認(図)と、開花時期(表)を調査した。また、調査と同時に、品種がはっきり同定できたものには各株ごとに樹木ラベルの取り付けを行い、品種調査中の株には調査中

表. サクラ開花記録

位置図番号	品種名	3月				4月			
		15	25	5		15	25		
1	カンヒザクラ		●						
2	寒桜(晚咲き性)		●						
2'	寒桜(早咲系)								
3	オオシマザクラ					●			
4	三波川冬桜		●						
5	水上					●			
6	乙女東彼岸			●					
7	大提灯					●			
8	伊豆吉野					●			
9	修善寺寒桜					●			
10	兼六園菊桜							●	
11	仙台屋					●			
12	手翳女					●			
13	佐野桜					●			
14	琴平							●	
15	予福桜					●			
16	普賢像							●	
17	狩衣					●			
18	白山旗桜					●			
19	浅黄							●	
20	嵐山					●			
21	八重紅大島					●			
22	鬱金					●			
23	四季桜					●			
24	十月桜								
25	関山							●	
26	松月							●	
27	日暮							●	
28	愚川					●			
29	有明					●			
30	金輪寺白妙							●	
31	虎の尾							●	
32	六高菊桜							●	
33	マメザクラ		●						
34	松前新珠							●	
35	作並菊桜							●	
36	祇女							●	
37	ミネザクラ							●	
38	チシマザクラ							●	
39	オオヤマザクラ							●	
40	s.p.							●	
41	ケヤマザクラ							●	
42	麒麟							●	
43	八重紅枝垂							●	
44	紅枝垂							●	
45	啓翁桜		●						
46	御衣黄							●	
48	八重曙							●	
49	数珠掛桜							●	
50	紅豊							●	
51	熊谷桜		●						
52	ヒロシマエバヤマザクラ							●	
53'	染井吉野(東京)							●	
53	染井吉野(芝生)							●	
54	ヤマザクラ							●	
55	一葉							●	
56	昭和桜							●	
57	八重紅彼岸							●	
58	天の川							●	
59	s.p.							●	
60	越の彼岸桜							●	
61	河津桜		●						
62	大寒桜							●	
63	佐藤染井							●	
64	糸括り							●	
65	八重紅虎の尾							●	
66	セイヨウミザクラ							●	
67	オオシマザクラとヤマザクラの交雑種							●	
68	ヒマラヤザクラ							●	

● : 目視で2部咲き以上の期間
 : 調査期間外のため状況を確認していないが、開花していたと思われる
 ● : 目視で最も見ごろと思われた日